

## 6820種のバネの規格 標準化

# 有限会社 中里スプリ ング製作所



群馬県

甘楽郡甘楽町白倉393  
(本社所在地:高崎市上中居町  
315)

代表取締役社長  
中里 良一

1950年(昭和25年)設立

:0274-74-4156

(本社連絡先: 027-323-2814)

<http://www2.wind.co.jp/nakazato/>

多種多様なスプリングを同社独自で規格化、一本より即納体制で供給。全国に  
ネット販売を展開。

### 必要な時が欲しいとき、を合言葉に

従来、特注生産が当たり前であったスプリングについて、独自に規格・標準化を進めること  
で、1個から800万個までの注文に大幅に短縮した納期で小回り良く対応できる体制を確  
立するとともに、低コスト・高品質の規格バネを社会に提供している。当初、規格のバネとし  
て2タイプ209点を発売。以来、1500種類、3000種類とアイテムを拡張し、現在は  
12タイプ6820種の規格化を行っている。さらに充実を目指して、現在10,000点の標準  
化の準備を進めている。

### 町工場の戦略

現在、メーカーとして自社で価格を付けられるもの50%、技術を磨く  
狙いである下請け仕事50%、この2つのバランスを取った経営を実践し  
ている。

同社は現在2つの自社ブランドを持つが、このうち「ナスパックシリーズ」は部品としての  
価値を高めるためであり、もう1つのブランド「ばね鋼房」はモノ作りの面白さを形に変える  
商品であり、部品としてではなく完成品として販売する特徴を持っている。



### 地域への貢献

ワイヤーアート、インテリア、アクセサリなど線材加工技術を生かした作品を製作し、地  
域店舗のイメージアップに繋げている。また、日本一楽しい町工場を目指すというキャッチフ  
レーズで、独自のモチベーションアップの経営を行っている。



# 株式会社 アート



代表取締役  
伊藤 久夫

群馬県  
桐生市相生町2-620

1982年(昭和57年)設立  
0277-54-5178

<http://silk-sylphide.jp/maker.html>

## 繭毛羽から抽出した絹 タンパクを有効活用する 技術を確立

繭毛羽から抽出した天然の絹タンパクを有効活用して、繊維素材を肌に優しい「快適素材」に改質させる、画期的な技術を確立。

### 繭毛羽から抽出した絹タンパクを有効活用

繭毛羽から抽出した天然の絹タンパク質と、肌に優しい高分子材料を併用し、合繊素材を、敏感肌等に悩む人でも快適に使用できる「快適素材」に改質させる画期的な加工技術を確立。この技術で加工された製品は、保水性や保湿性等の「肌に優しい」成分が多数含まれ、敏感肌や乾燥肌に悩む方でも快適に使用できるものとなっている。安価でありながら、豊富な絹タンパクを含有している「繭毛羽」から有効成分を抽出しているため、非常に低コストでの商品展開も可能となっている。

### 吸湿性と耐水性を併せ持つ、画期的な製品

同社の技術は、絹タンパク質とリン脂質ポリマーを併用したものである。この加工技術は、それぞれの素材が持つ、「肌に優しい効果」を高めあうと共に、「吸湿性と耐水性」という相反する性質を併せ持つ画期的な製品を生み出すことができる。天然の絹タンパクの持つ優れた優位性を、長期間に渡って繊維に付着させることができる技術は同社独自のものであり、競争力が高いものである。



### 絹タンパクをふんだんに使用した化粧品

繭毛羽からの絹タンパク抽出・活用技術の高度化を進めた結果、絹タンパクの有効成分である「セリシン」と「フィブロイン」の両方について、それぞれ高分子と低分子のものを適切に抽出できる技術を確立。この技術を有効活用し、絹タンパク質をふんだんに使用した「シルク化粧品」の開発にも取り組んでいる。日本一の養蚕県である群馬県産の高品質繭の毛羽から抽出した、「安全・安心」な天然商品であることもPRしながら、付加価値の高い「天然シルク化粧品」として事業化を進めている。



# フジレース 株式会社



代表取締役  
中野 隆雄

群馬県  
桐生市相生町1-15

1963年(昭和58年)設立  
0277-53-6374

世界が認める  
「和紙ブラインド」

機能性和紙を編み上げる特殊技術により作られた「和紙ブラインド」は、世界中探しても類似品がない「オンリーワン商品」。大手ブラインドメーカーのOEM商品として、国内外に広く普及。

## 世界で認められている「和紙ブラインド」

ヒモ状に特殊加工した「機能性和紙」を使用して、「和紙製インテリア商品」として編み上げる、高度な特殊技術を確立。代表的な商品である「和紙ブラインド」は、和紙を横糸として挿入し、縦編みの手法で編み上げた特殊なブラインドである。和紙をヒモ状に加工するため、大量生産もでき、編み方や染色により、多様な商品化も可能。自然界の持つ色調や和調ブームの中、大手メーカーのOEM商品として、国内外に広く普及している。

## 和紙を使った、オンリーワン技術

「和紙を使って、世界に通用するオンリーワン商品を作りたい」と開発に取り掛かって約25年。全国を巡り、紙業メーカーを巻き込んで試行錯誤を繰り返した結果、横方向に破れ難い、十分な強度を持つ和紙の開発に成功。機械設備も、汎用機を独自の改良方法で改造した特殊仕様とすることで、極めて特殊な技術を確立させた。用途に合わせて和紙と他の素材を適切に組み合わせ、付加価値の高い和紙製レース製品を次々と生産する技術は、世界のオンリーワン技術である。



和紙ブラインド

## 天然素材にこだわった、新たな商品展開

数年来の技術開発の結果、特殊加工した糸状の和紙を、ポリ乳酸繊維とともに撚り合せた「新和紙素材糸」が完成。この和紙糸は、他の素材と組み合わせやすく、また洗濯機での洗濯もできることから、マット・シーツ、衣料、農業用資材等、幅広い分野で、和紙製商品を展開することが可能となった。今後は、絹、綿、からむしなどの他の天然素材と組み合わせ、「環境に優しい、天然和紙素材商品」として、本格的な市場導入を目指している。



吸湿性・通気性に富み、洗濯もできる「和紙マット」